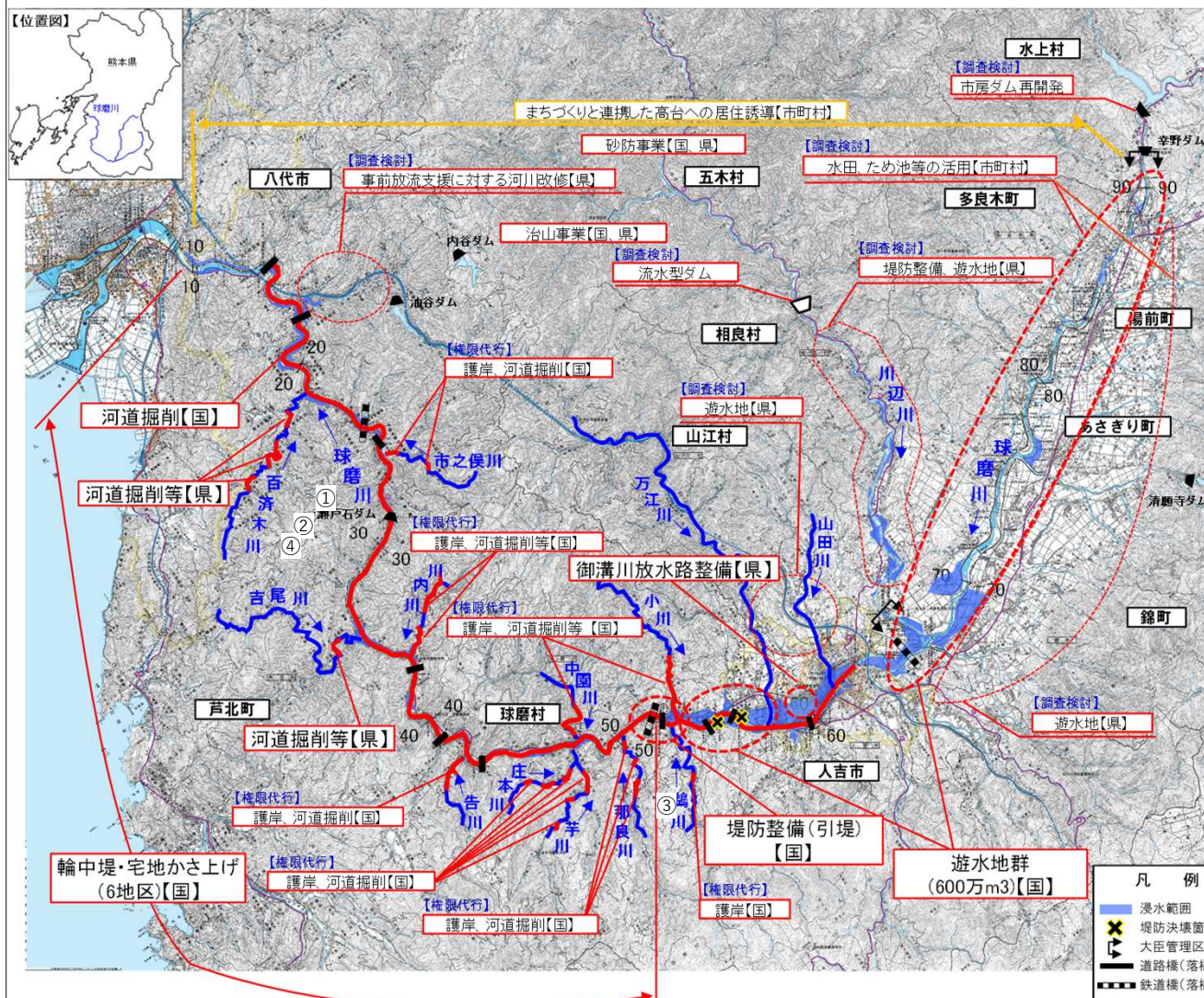


球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況について

- ※従来から検討してきた貯留型ダム並びに再開発後の市房ダムによる洪水調節の効果を含む



本復旧完了 31箇所				
0%				100%
○災害復旧（権限代行）				
本復旧完了 126箇所				実施中 14箇所
0%			90.0%	100%

最近の動き

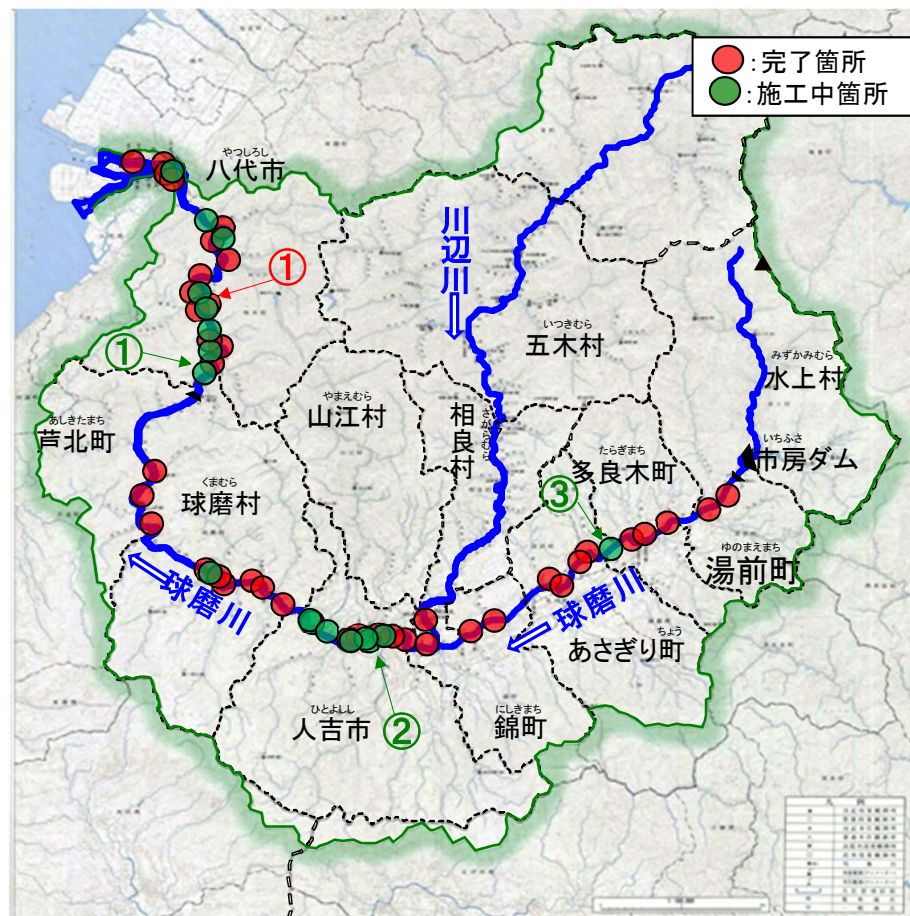


球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.49

河道掘削の進捗状況について

- 球磨川河道内の掘削を行っており、令和5年2月末現在約196万m³を撤去。
- 引き続き、河道掘削を推進していく。

【施工中状況】



【施工前状況】



【施工後状況】

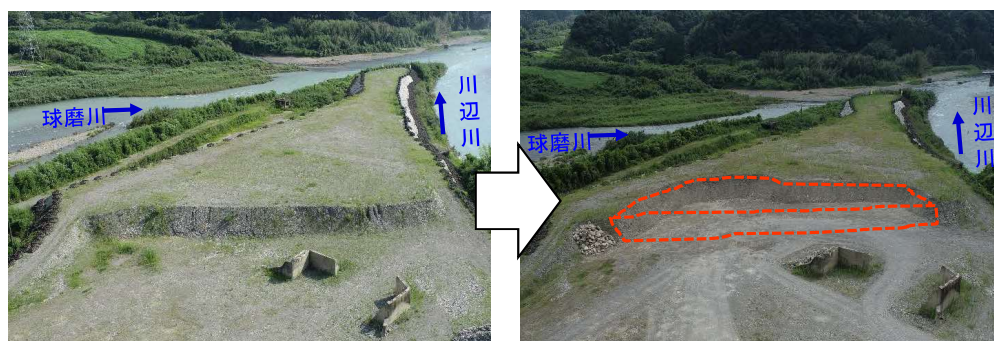


球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.49

掘削土砂の有効活用

- 球磨川で掘削した土砂について、築堤材料のほか、宅地かさ上げや自治体と連携した観光・生活基盤等まちづくりへの活用も図るなど、地域の復旧・復興に寄与する河川事業を展開していきます。
- 活用例として、ふるい分けし球磨村神瀬地区における宅地かさ上げの先行盛土に活用しました。

仮置き土砂搬出状況



ふるい分け状況



先行盛土作成状況



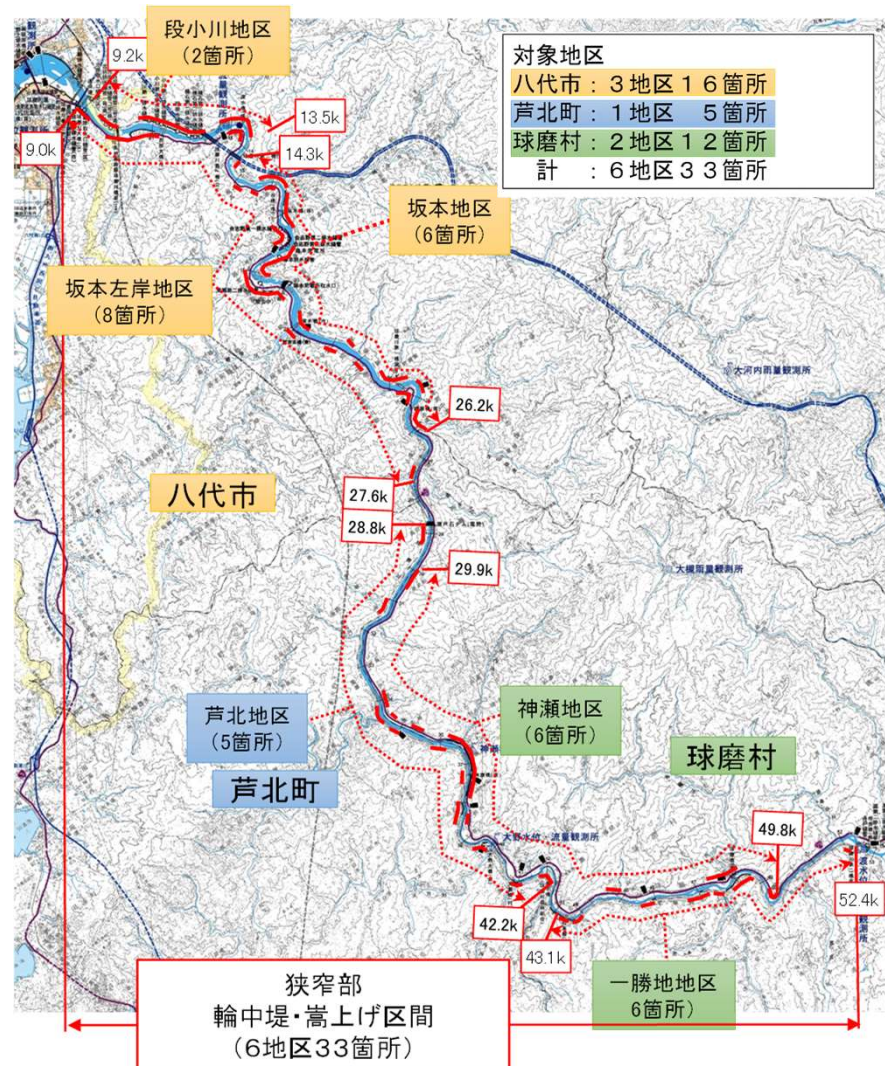
先行盛土完成



球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.49

輪中堤・宅地かさ上げの進捗状況について

- 輪中堤・宅地かさ上げについて、県及び関係市町村と連携を図ったうえで対象となる各地区で事業説明会等を令和3年3月から順次開催（3市町村 計130回開催 ※3月末現在）。
- 事業説明会にて施工計画やスケジュール、宅地かさ上げ事業に係る補償について、説明を実施。
- 令和5年2月19日、球磨川神瀬地区宅地嵩上げ事業着工式を開催。
「球磨川水系緊急治水プロジェクト」に基づく宅地かさ上げ事業の中では初めての工事着手。



※地図上の範囲は測量等のおおまかな計画範囲を示す



説明会の状況（R5.2.22）
【八代市大門地区】



説明会の状況（R5.2.28）
【球磨村池下地区】



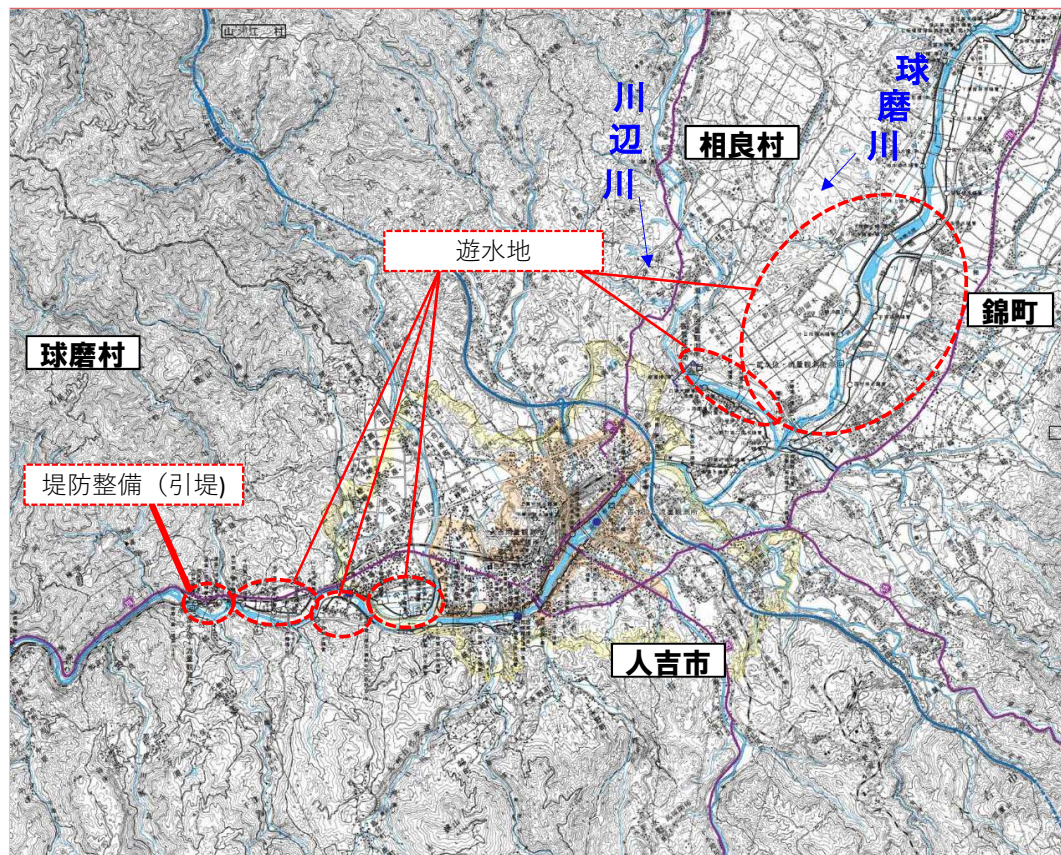
球磨川神瀬地区宅地嵩上げ事業着工式
(R5.2.19)
【球磨村神瀬地区】



球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.49

引堤・遊水地の進捗状況について

- 引堤、遊水地について、県及び関係市町村と連携を図ったうえで対象となる各地区で事業説明会等を令和3年2月から順次開催（4市町村計32回開催 ※3月末現在）。
- 事業説明会にて事業説明及び現地立ち入りの説明を行ったうえで、令和3年4月から現地調査（測量等）を行い、現在、用地調査・用地協議を実施中。
- また、復興・再生に向けた各地区のまちづくり懇談会等に参加し、地元との合意形成に努めている。



関係機関協議

※図上の点線囲み範囲は測量等のおおまかな計画範囲を示す

令和4年の説明会等実施状況



事業説明会(R4.11.23)
【人吉市大柿地区】



事業説明会(R5.2.18)
【球磨村渡地区】



用地調査の状況(R4.8.30)
【球磨村渡地区(遊水地)】

・用地協議中【相良村柳瀬地区】



地質調査の状況 (R5.2.23)
【球磨村渡地区(引堤)】

球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.49

護岸被災等の復旧について

○国管理区間では、堤防決壊2箇所の災害復旧工事を実施し、令和3年5月末までに本復旧を完了した。

【位置図】



● : 被災箇所(本復旧完成)

①堤防決壊箇所(球磨川右岸56.4k付近) ②堤防決壊箇所(球磨川左岸55.0k付近)



球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.49

護岸被災等の復旧について

○令和2年7月豪雨により被災した、護岸等の被災29箇所について、令和4年出水期までにすべて完了。

【位置図】



【被災状況】



【復旧完了】



【被災状況】

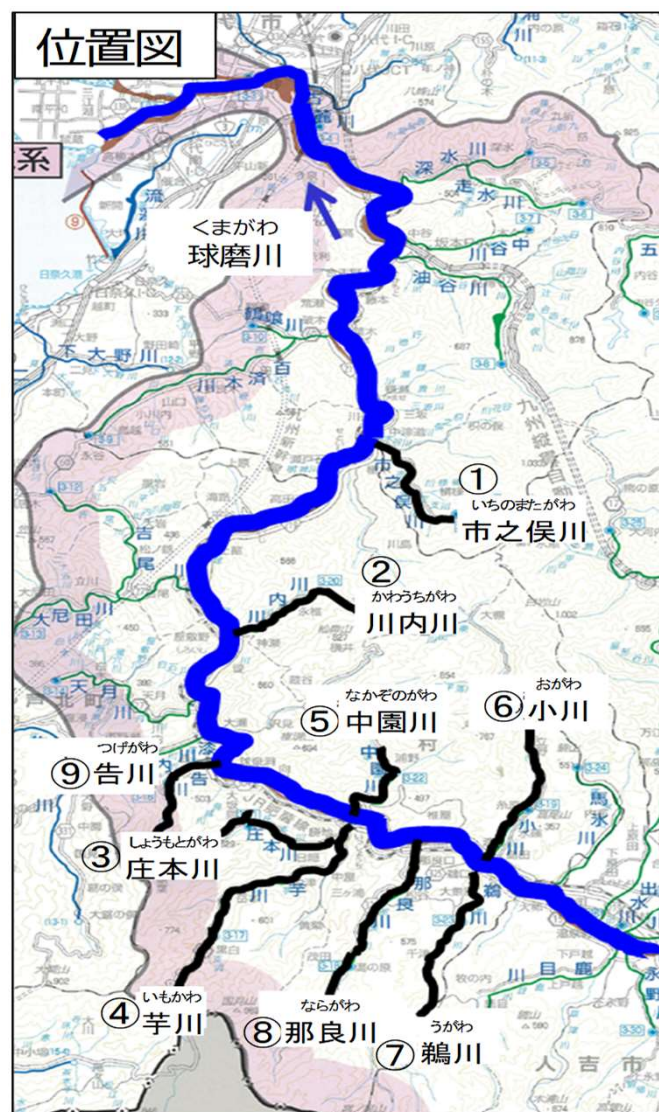
【復旧完了】



球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.49

護岸被災等の復旧について（権限代行区間）

- 権限代行9河川については、令和3年5月末までに約20万m³の土砂掘削を完了。
- 護岸等の被災施設の復旧については、約140箇所の全箇所に着手し、令和5年3月末までに完了予定。
- 令和4年7月9日の大雨により、工事実施後の護岸8か所において、被災を確認。応急復旧は完了しており、今回被災した護岸の本復旧については、令和5年3月末までの完了を目指します。



【施工完了】



【施工中】



【令和4年7月9日の大雨による被災状況】



球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.49

ソフト対策の取組状況～平時からの住民等の防災意識醸成～

■令和3年度からの各教育機関での出前講座および学校教育への支援

- 令和2年7月豪雨の概要や、流域治水対策プロジェクトの説明を行い、流域全体での取り組みを学習してもらう。
- 「避難するために必要な情報」や避難時に潜む「用水路等の災害のリスク」を考え、避難時の自助・共助の意識を高める。
- 防災に関わる授業単元への支援を目的に、学校の先生方を対象とした教育資料の紹介・提供を行うことにより、防災や避難時の自助・共助について学校の授業で展開され正確な理解につなげる。

植柳小学校(4・5年生)への防災教育
(R4.3.10)



八代高校(1年生)への防災教育
(R4.6.17)



人吉球磨理科教育研究会での研修
(R4.8.17)



球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.49

流域治水への理解促進や住民参加のための説明会

令和2年7月豪雨以降、八代河川国道事務所では円滑な事業進捗や住民の方への事業の理解促進に向け、事業に関する住民説明会を随時実施している。

また、球磨川水系緊急治水対策プロジェクトに関連して、各自治体が開催する事業説明会やまちづくり懇談会に積極的に参加することで、地域の意見をお聴きして事業に反映し、円滑な事業進捗につなげている。

更に幅広い年代に球磨川流域への理解、防災意識を醸成して頂くための取り組みとして、流域の学校を対象に河川環境教育・防災教育に取り組んでいる。

各説明会等実施状況（令和5年3月末時点）

■流域治水に関する説明会・懇談会（R3.2月～）

◇開催・参加回数 217回

◇のべ参加人数 5,518名

年度毎の開催状況

令和2年度：計17回（のべ777名）参加

令和3年度：計113回（のべ3675名）参加

令和4年度：計87回（のべ990名）参加（※令和5年2月末時点）

自治体毎内訳

八代市 111回 芦北町 15回 人吉市 26回

球磨村 48回 その他 17回

■河川環境教育・防災教育（R2.7月～）

◇開催回数 25回

◇のべ参加人数 909名

年度毎の開催状況

令和2年度：計4回開催 のべ118名参加

令和3年度：計13回開催 のべ509名参加

令和4年度の開催状況

（防災教育）令和4年6月17日 八代高校 25名参加

（環境教育）令和4年7月21日 川の安全教室（福島保育園）23名参加

（防災教育）令和4年8月17日 人吉球磨理科教育研究会 20名参加

（環境教育）令和4年9月9日 水生生物調査（相良南小学校）30名参加

（環境教育）令和4年9月11日 川の安全教室（東間小学校）94名参加

（環境教育）令和4年10月14日 水生生物調査（木上小学校）24名参加

（環境教育）令和4年11月18日 ごみパトロール（宮地小学校）30名参加

（防災教育）令和5年1月24日 熊本高専八代キャンパス 36名参加

【先行盛土・ARの様子（球磨村神瀬地区）】



※ARによる疑似体験

ARを用いた宅地かさ上げイメージ



【ごみパトロール（環境学習）】



【防災教育の様子（防災事業）】

